

町商工会小学生なわとび大会

自分の記録に挑戦

12月19日、「小学生なわとび大会」が長島町総合市民体育館で開催されました。

同大会は、町商工会（古田義富会長）が毎年開催しており、この日は町内の小学生172人が参加しました。

個人戦では、持久跳び、あや跳び、二重跳び、後ろ跳びの4種目で競い、団体戦では、小学校チームごとに分かれ、3分間で八の字跳びを何回跳べるかを競い合いました。

子どもたちは、応援に駆け付けた保護者からの声援を受けながら、日ごろの練習の成果を十分に発揮していました。



↑持久跳びに挑戦する児童たち

大会の結果は次のとおりです。（1位のみ）

持久跳び（各学年）

1年 白濱 花波（獅子島） 2年 久保 安奈（川床）
3年 松尾悠之介（鷹 巣） 4年 岩下 海里（鷹巣）
5年 大平 真碧（鷹 巣） 6年 出水 凜（鷹巣）

あや跳び（低・中・高学年）

1年 三反田怜矢（川 床） 3年 宇都 陽音（獅子島）
5年 脇田 莉未（蔵之元）

二重跳び（低・中・高学年）

2年 濱村 哲昇（鷹 巣） 4年 出水 翔（鷹巣）
6年 小川 航平（平尾）

後ろ跳び（低・中・高学年）

1年 水口 仁悠（川 床） 4年 石田 悠里（鷹巣）
5年 大平 真碧（鷹 巣）

八の字跳び（小学校チーム対抗）

平尾小学校5年（399回）

本浦小学校で竹灯籠祭り

跡地活用検討のきっかけに

12月19日、旧本浦小学校で竹灯籠祭りが行われました。

この日のために、白瀬、本浦、葛輪の3集落で竹灯籠約450本を作成。小学校の校庭に所狭しと据え付けられました。

日が暮れるにつれ、灯をともした竹灯籠はきれいに光り出し、来場者を楽しませていました。また、会場内では蒸かし芋も振る舞われ、寒空の中来場した人たちを温めていました。

この祭りの発起人である飯田満穂さん（本浦）は「本浦小学校が閉校して約1年が経とうとしている。閉校後の跡地活用を話すきっかけになって欲しく竹灯籠祭りを考えた」と小学校への思いを話してくれました。



↑約450本の竹灯籠が並んだ本浦小学校校庭